



datamix ■

データミックス

データを学べば、
新しい世界が見えてくる。



株式会社データミックス

設立	2017年2月1日
代表取締役	堅田洋資
所在地	東京都千代田区神田神保町2-44第2石坂ビル2階
TEL	03-6272-3970
HP	https://datamix.co.jp/
事業内容	データサイエンスに関わる教育や研修事業 / 有料職業紹介 ※許可・届出受理番号：13-ユ-308748



例えば、酒蔵の人がデータ分析を覚えたら。
いままでなかったお酒を開発できるかもしれない。
例えば、営業職の人がデータを活用できるようになったら。
思いも寄らない市場を開拓できるかもしれない。

データミックスは、データを作り、読み、使いこなすための
知識とスキルが身につく日本屈指のビジネススクール。
ふだん何気なく見ている風景や暮らしのなかにも、
ヒントを見つけることができる。
そこから課題を解決する糸口や、
新しいビジネスを生み出すアイデアが見つかるかもしれない。
あなたの個性がデータサイエンスと出会ったとき、
その仕事に大きな変革を起こす力になる。

そう、サイエンスするのは、あなた自身だ。
それはきっと、どんな分野にも役立つだろう。
データは、無機質なものではなく、
いまを生きる人々の心や行動が詰まっているものだから。

データを学べば、
新しい世界が見えてくる。

datamix ■

CONTENTS

02 代表メッセージ

04 データミックスのビジョン

05 3つのコア事業領域

06 キャリアトランス
フォーメーション事業領域

07 スクール講座

08 スクール卒業生について

09 データサイエンティスト
育成コース本講座について

10 卒業生インタビュー

12 ビジネストランスレーション
事業領域

13 DXの鍵を握る人材育成

14 データサイエンス事業領域

15 サービス実績

16 データサイエンティスト紹介



株式会社データミックス
代表取締役

堅田 洋資

MESSAGE

代表メッセージ

データサイエンスは、統計学や機械学習・AIといった技術を駆使して、データの中から気づきを得るための実学です。実学と書いたのは、使ってみてはじめて、その力を体感できる学問だからです。

データサイエンスを学ぶのにただ教科書を読んだり、チュートリアルをやるだけではもったいない。仲間と議論したり切磋琢磨しながら学び、どんどん実際のデータと戯れる中でデータサイエンスの威力を知って面白いと思ってもらいたい。学んだ人ひとりひとりが新しいアイデアに挑戦してもらいたい。それが社会に新しい価値をもたらすはずだ。その仮説を持ってデータミックスという会社をつくりました。

データサイエンスの力は大きく2つあると思っています。

ひとつは、身の回りで起こる事象を総合的に判断できる力です。例えば、データサイエンスを知っていれば、何かのグラフを見たときに果たしてこのグラフは実態を表しているのだろうか？もっと大事なことが隠されているのではないかな？そんな視点で考えられるようになります。大げさに言えば、周りの意見や偉い人の意見に簡単に流されず、自分らしいモノの見方を持てるということです。

もうひとつは、データサイエンスを知っていれば、身の回りにあるデータを見たときに「こんなことができるかも」とワクワクするようなアイデアを見つけることができます。実際、仕事の場面で普段何気なく見ているデータから、データサイエンスの手法を使った業務効率化ができたり、AIを使った新しいビジネスにつながったりしています。

データサイエンスの力によって新しい価値を生み出せると信じている人とのつながりがデータミックスのエンジンです。

MISSION ミッション

データサイエンスで
新しい価値を提供し続ける

VISION ビジョン

データサイエンスが
豊かな社会に繋がるための
オープンラボになる

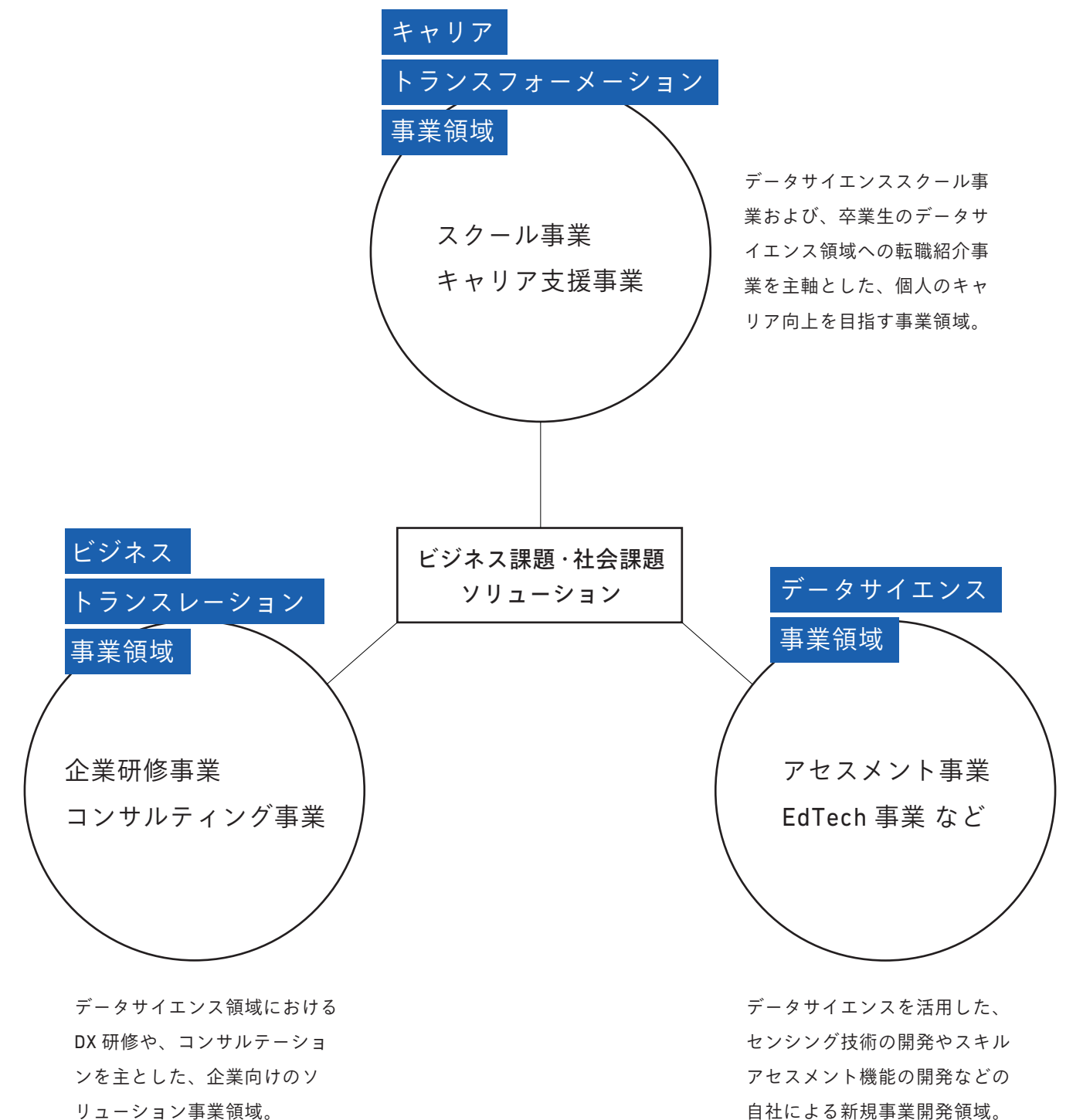
VALUE 行動基準

- 01 相手よりも相手を理解する。**
私たちは、受講生、顧客、働く仲間、ステークホルダーの
困りごとを、手触り感をもって理解します。
- 02 すぐ試す。結果から学ぶ。**
私たちは、試さないとわからないことが多くあると理解して
います。最短で試す方法を考え、結果から学び、改善します。
- 03 丁寧かつ徹底的にやり抜く。**
私たちは、簡単には成果が出ないと知っています。
丁寧に、徹底的にやり抜いてこそ、
素晴らしい成果につながると信じています。
- 04 際限なく強みを発揮する。**
私たちは、データサイエンスビジネスの
プロフェッショナル集団です。
各々が持つ個性や強みを最大限発揮できることを大切にします。
- 05 仲間の成長にコミットする。**
私たちは、オープンラボを作り上げていく仲間です。
思いやりと尊敬の気持ちを持ってお互いに
フィードバックしあい、切磋琢磨します。

データミックスの3つのコア事業領域

個人および法人向けにデータ活用人材（データサイエンティスト*1、ビジネストランスレーター*2など）の育成に関する事業、EdTech プロダクト事業などのデータサイエンスにかかわる新規事業開発を行っています。

- *1 データサイエンティストとは、高度なデータ分析技術を駆使し、ビジネス課題を解決する専門家のこと。
- *2 ビジネストランスレーターとは、データサイエンスの基礎知識を持ち合わせたビジネスリーダーとして、データサイエンティストなどの専門家と経営陣との橋渡し役ができる人材のこと。

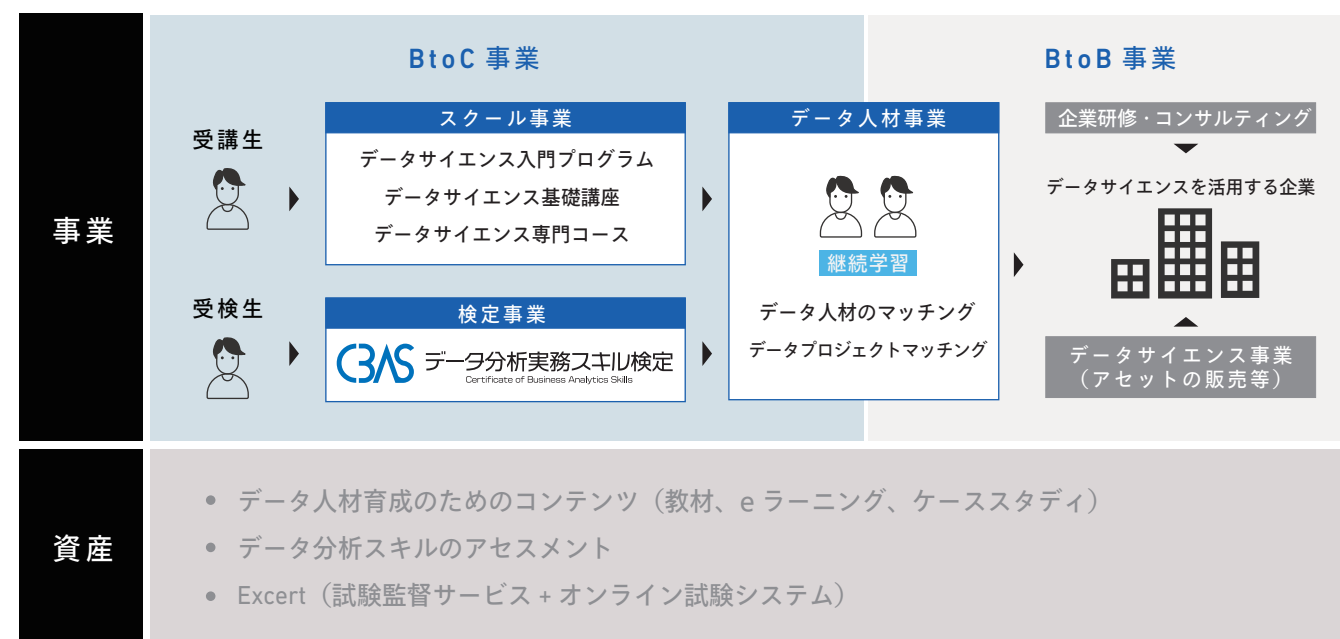


キャリアトランスフォーメーション事業領域

データサイエンスのスキルを身につけるだけでなく、
社会とつなげるまでキャリアをフォローアップ

2017年、データを駆使できる人材の活躍が社会にとって有益であると考えた代表堅田により、ビジネス領域に特化したデータサイエンススクールを開講しました。2021年3月時点で、データサイエンティスト育成コース本講座の卒業生は400人を超えています。卒業後のキャリア相談にも力を入れており、データ活用人材を社会に輩出するところまで一貫して行っています。

■ キャリアトランスフォーメーション事業の領域



スクール事業

データサイエンティスト*1やビジネスアナリスト*2として新たなキャリアを目指す方や、現状の専門スキルにデータ活用スキルの付加価値をつけたい方などに向けて、データサイエンス領域の教育プログラムを提供しています。

*1 データサイエンティストとは、高度なデータ分析技術を駆使し、ビジネス課題を解決する専門家のこと。*2 ビジネスアナリストとは、データサイエンスの基礎知識を持ったビジネスリーダーとして、データサイエンティストなどの専門家と経営陣との橋渡し役ができる人材のこと。

キャリア支援事業

データミックスは、個人がスクールでデータサイエンススキルをつけるだけでなく、社会で活かすところまでキャリアサポートします。データ活用人材を求める企業さまとのリレーションの多さも強みです。

スクール講座

「ビジネス専門知識 × データサイエンス」
で、データ活用人材になる

全国どこからでも受講可能なオンライン授業

データサイエンス入門コースと、入学試験のあるデータサイエンティスト育成コース本講座がデータミックスのメインカリキュラム

本講座では、約半年でデータサイエンティストのエントリーレベルのスキルを習得し、ビジネスアナリストなどのデータ活用人材として活躍できるビジネスパーソンになることを到達目標としています。



データサイエンティスト
育成コース 本講座
教育給付金対象 (最大 70% 還付)

ビジネスに使えるデータサイエンスを学ぶ社会人向け講座です。データサイエンティストの基礎力を約半年で習得。DXで活躍できるデータ活用人材を目指します。
オンラインライブ受講対応・神保町教室にて対面受講も可

インテグレーションステップ

実践

アドバンスステップ

知識習得

ベーシックステップ

ブートキャンプステップ

基調講座

入学試験 (本講座受講には、統計学やPythonなどの入学試験合格が必須です)

データサイエンス入門コース

■ 入門講座ラインナップ

入門コースは、未経験でも無理なく学習できる設計。講師の丁寧な課題添削と、オンラインライブ補講による対面なしのハンズオン講座です。

講座名	到達イメージ
Python 入門	Python を使って業務を効率化する手法を習得し、実践できる。
ビジネス統計	勘や経験に頼ることなく、データや統計学に基づいた定量分析ができる。
Excel で学ぶ機械学習入門	ビジネスで使える機械学習の手法を理解し、活用シーンを考えることができる。
SQL 入門	SQL を使って大量データの集計が実践的にできるようになる。
デジタルマーケティング分析入門	デジタルマーケティングにおけるデータ分析を理解し、BI* ツールを駆使してUI改善を提案できる。 *BI ツールとは企業が持つさまざまなデータを分析・見える化して、経営や業務に役立てるソフトウェアのこと

スクール卒業生について



スタッフインタビュー

ビジネスに使える
データサイエンスが学べるスクール。
講師と受講生の熱さがとにかく自慢。

スクール事業部 部長：石井ゆり香

商学部卒（管理会計専攻）。大学卒業後、メーカー、広告制作会社、システムコンサルティング会社で経理を担当。その後、2018年にデータミックスに参画。

- 創業から累計で約400人以上が卒業しました。運営経験から、受講検討されている方へ伝えたいことは？

受講後アンケートでは講師の熱意や体系的な教育プログラムへの好意的な意見が目立ちます。実際、受講生にデータサイエンスの良さをつかんで欲しいと切磋琢磨する講師陣を見ているので、データミックスでの学びの熱さをぜひ体験して欲しいです。また、DXがすすむ中、データを正しく扱えるビジネスパーソンになれるかは重要だと感じています。データミックスでデータを駆使する方法を学んで、元々お持ちの専門スキルをさらにいかしていいただければと思います。

- 受講生はどんな職業の方が多いでしょうか？

年齢は20代～40代の若手・中堅ビジネスパーソンが大半を占めますが、還暦をすぎた経営者の方もいらしています。所属業界や職種も幅広いです。（※グラフ参照）

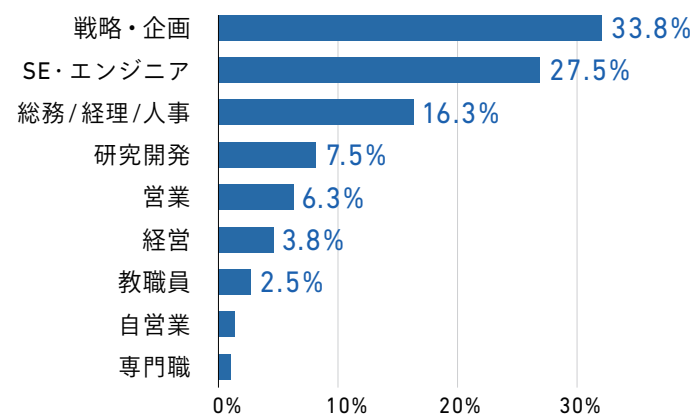
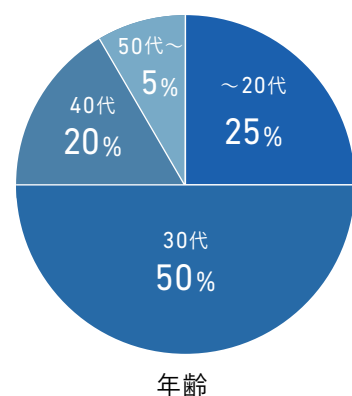
- 印象に残った卒業生はいますか？

選ぶのは難しいですね。入学当初、データ分析未経験だったとは思えない卒業レポートを提出する方がたくさんいらっしゃって。総じて、半年間に大変な努力をされたのだ

など感じますし、同時にデータミックスでの学びを通して新しいスキルを獲得されていることに、とても嬉しい気持ちになります。

あとは獲得した知見を、卒業後どのようにビジネスに活用しているか、とても気になって。例えば、財務部なのに離職率を分析したい人事部から声をかけられたり、DX体制について意見を求められたというような、卒業後の話を聞くとうれしくなります。データサイエンスは、これからのキャリアに有益だと卒業生を通じて実感しています。

■ データサイエンティスト育成講座の受講実績



データサイエンティスト育成コース 本講座について

スタッフインタビュー

本場イギリスで学んだプログラムを日本に。
データサイエンスという学問の本質を
つかんでもらいたい。

教育プログラム開発・監修：

今井 宏昭（データサイエンスアドバイザー）

UCL 統計学士、オックスフォード大学統計学修士、王立統計学会認定統計学者。外資アナリティクス企業などにデータサイエンティストとして従事後、フリーランスへ。データミックスには2020年より参画。

- まずは、開発・監修者として参加することになった経緯をお話いただけますか？

堅田さん（データミックス代表取締役）もデータサイエンス領域の海外大学院出身だからか、自然と日本のデータサイエンス教育への危機感的な感覚がマッチしたんですね。意気投合して話すうちに、ビジネスに適応できるデータサイエンスを普及してきた上での課題をお聞きして。受講生の中で学んだ知識をどんどん使って課題を解決し活躍の幅を広げた方と、知識を持っているだけで使いこなせていない方との差の大きさを、懸念されていました。そこで、教育プログラムに対してアドバイスをさせていただきました。その縁で、教材リニューアルの開発・監修をお受けすることになりました。

- 今回の改定には、どんなご苦労がありましたか？

半年、かつビジネスパーソンであれば週10時間の学習が限界であろう中に、カリキュラムを詰めなくてはならないという制限があって大変でした。イギリスは、統計学において100年以上の歴史を持っています。入門の教育体系だけでも必須科目が多い。加えて、データサイエンスをビジネスに適用させ価値を生むには、アカデミック理論と実地の間起きるギャップ調整が必要となり、ボリュームも膨大です。必須であろう情報を掛け合わせた気が遠くなる量からの学習ポイントの抽出、効率的な学習プログラムへの体系化に苦労しました。



- リニューアルポイントを教えてください。

堅田さんの懸念への解決策として、問い（課題）の本質を整理する力をつけ、データから有益さを見出すとはどういうことを学べるプログラムにしたかった。なので、基調部分としてデータサイエンスの考え方や、分析思考を深くする教材を加えました。実務における失敗事例も増やし、より実践的にしています。元の教材は、解決ツールや手法の学習が大半を占めていましたが、今回は、課題を抽出し解決するための思考力を上げるプログラムが多くなっています。とはいえ実は、手法部分が削られたわけではなく、むしろ手法の理論部分も増えています。手法理論をしっかり学ぶことが、分析思考力を支えるので削れません。体系立てて情報を圧縮した結果、さらに効率的に学べるプログラムになったと思っていただければと。学ぶ知識量は半端ではないですが、せっかくの機会です。約半年間、本気で時間を作ってビジネスで使えるデータサイエンスの基礎をもにしていきたいと思います。

卒業生インタビュー

データを学んで、見えてきた新しい世界

データミックスでデータサイエンスを学び気象予報士から気象データアナリストへの道を切り拓いた卒業生、加藤芳樹さん・加藤史葉さんご夫妻と代表堅田が当時と現在を語ります。

堅田：いまやっていることを教えてください。

史葉：現在進行中なのはNHK様のフェージング解析・予測です。大気の状態によって電波の異常伝搬が発生することがあって。

芳樹：アンテナで受信する電波の強さが変動するので、対応が必要な場合があるんです。気象要因なので、気象データをAIに解析させれば予測までできる可能性がありますから。

堅田：すごい取り組みですね！データミックス卒業後、気象に関係するデータ分析をはじめたんですよね？

芳樹：最初は太陽光発電とか風力発電などの再生可能エネルギーの発電予測でした。妻と一緒に取り組んで、エネルギー界の人

たちは、気象要因の変数が必要だとわかっている。なので需要はあるだろうと。

堅田：当時、気象予報士をされているご夫婦が受講生にいて話で、びっくりしたんですよ。受講は、どんなきっかけだったんですか？

史葉：2015年にはじめて「データサイエンティスト」という単語を聞いて、自分がやっている分析の仕事と何が違うの？と思っただけからしばらくして堅田さんのインタビュー記事を目にして。私が「この学校行きたい！」って言ったら、夫も賛成してくれたんです。

堅田：そうだったんですね。うれしいです。そういえば、フリーになってうちに来る前は会社勤めをされていたんですよね？

史葉：2人とも航空業界でした。私がいた会社はシステム化が遅れていて、手作業の紙仕事が多くて。生産性が叫ばれる時代に貴重な時間を手作業仕事に費やすのはまずい！と焦りを感じたときに、よいタイミングでデータミックスの存在を知りました。

芳樹：その頃、気象業界でもAIやビッグデータ活用が目立っていて。この流れに先に乗ったほうが絶対いいだろうと考えたんです。それで、2人して航空業界を辞めて、データミックスの門を叩いたのです。

堅田：結果、気象データアナリストという新しい分野を開拓されて。誇らしいです。きっかけになったデータサイエンティスト育成コース本講座はどうでしたか？

史葉：授業についていくのに苦労しました。データサイエンスの世界って、最終的なゴールに辿り着くまでにたくさんの体系化されたステップがあるから、よく混乱していました。どうにか卒業発表で電力市場価格予測AIを作ることができましたが。

堅田：最初は、みなさん苦労されています。データミックスは受講生にしっかり目的を持ってもらうことを大事にしています。

受講生の疑問や質問にとことん付き合うのがうちの信条です。終電まで議論を交わした講師と受講生もいます。

芳樹：僕は、気象学会系の分科会で卒業発表の「成田空港の霧予測」について話す機会があって。そんなふうに関わりの幅広さが出てよかったのかもあるんですが、単純に気象予測の勉強にデータサイエンスをいかせるまでスキルアップできたメリットは大きかったですね。

堅田：確か、会社員時代に取り組んでいた内容に関してデータサイエンスを使って予測精度を上げたって発表でしたよね。

芳樹：はい。ウェザーニュース時代は、無理やりパラメータを決めて計算するロジックで予測をやっていたんです。そのときと比べてどのくらいうまく予測できるかを試したくて。よい手応えもあったので面白いとハマりました。

堅田：加藤さんたちのように目的を持ってデータサイエンスに取り組むほうが、卒業後にキャリアが良いほうに一転するというか、変化の度合いが大きいんです。実感としてですが。

芳樹：私たちは、明確に何がしたいという自分のテーマを持っていました。そこが、データミックスにとってもマッチしたと思います。

堅田：はじめは明確な目的がなくとも、学んでいくうちに身近な問題も解決できるデータサイエンスの可能性に気づいて、変化する方もたくさんいます。目を見張るようなビジネスインパクトでなくてもいいんです。まずはデータサイエンスの有益性を体験して欲しい。

そんな思いもあって、講座のリニューアルをしたんです。

今後、ウェザーデータサイエンスという夫婦ユニットとしての野望はありますか？

芳樹：小さな気象ニーズを集めて、ストック型の事業をしたいと思っています。現状は案件ベースで終わっているんです。

史葉：クライアントの売上向上やコスト削減に貢献する成功事例をたくさん作って、企業に利益をもたらしてくれる顧問気象

予報士という新しい役割を先導できたらいいですね。

堅田：お二人とはじめて会ったときから同じ印象です。

いいご夫婦であり、コンビであり、らしさがずっとあるんですよね。

データサイエンスを使って、どんどんステップアップしても、らしさをずっとキープしてペースを崩さない。そこがとてもいいなと思っています。

会社勤めをしていたとき、自分の運命を会社に握られている感というか自分のペースを持っていかれる感じがあって。

でも、専門知識にデータサイエンスが加わったことで、好きなペースで生きられるようになったんです。

加藤さんたちも、データサイエンスで自由の翼を得たのだなと思うとスクールをやった本当によかった。

ぜひ、データミックスと一緒に今後もデータサイエンスの有用性を広げていってもらえればと思います。



ビジネストラנסレーション事業領域



データサイエンス領域の ビジネスソリューション

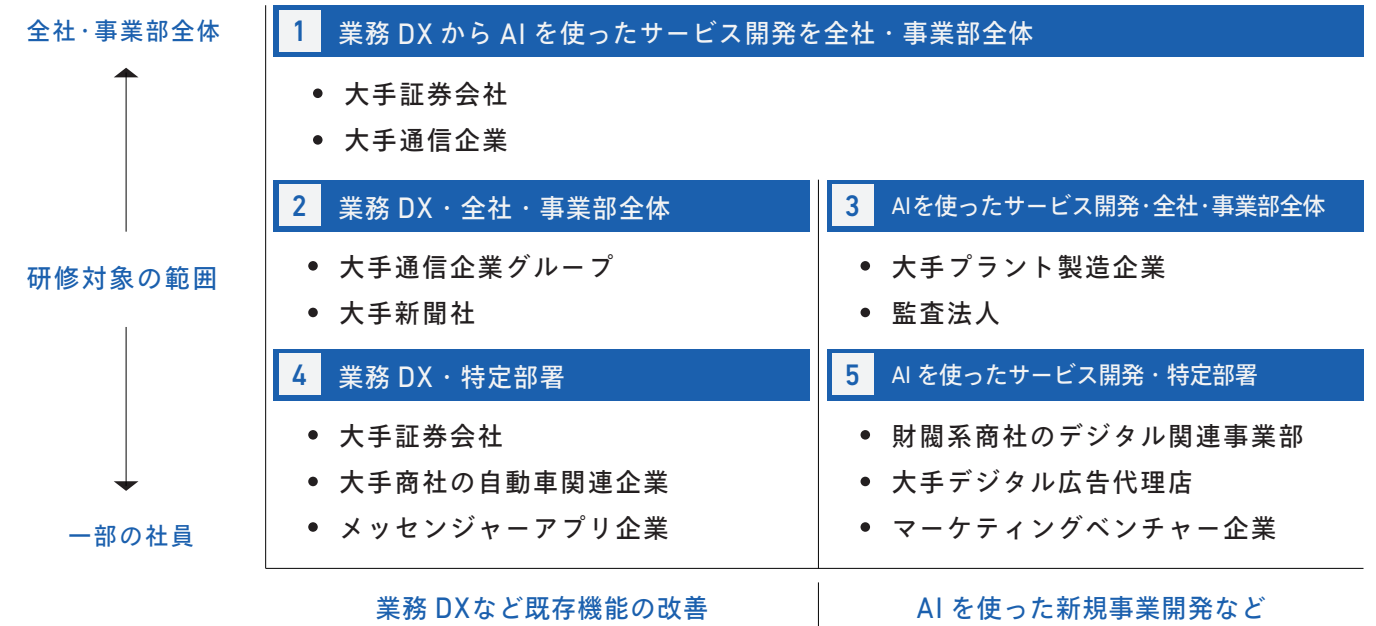
企業研修やコンサルティングなど、企業に向けたデータサイエンスにおけるソリューション事業を展開しています。

研修は、企業からのニーズに合わせてカリキュラム策定から教材のカスタマイズ、講師の派遣までをワンストップで提供可能。ニーズに応じて、データサイエンス領域のコンサルティングも行います。

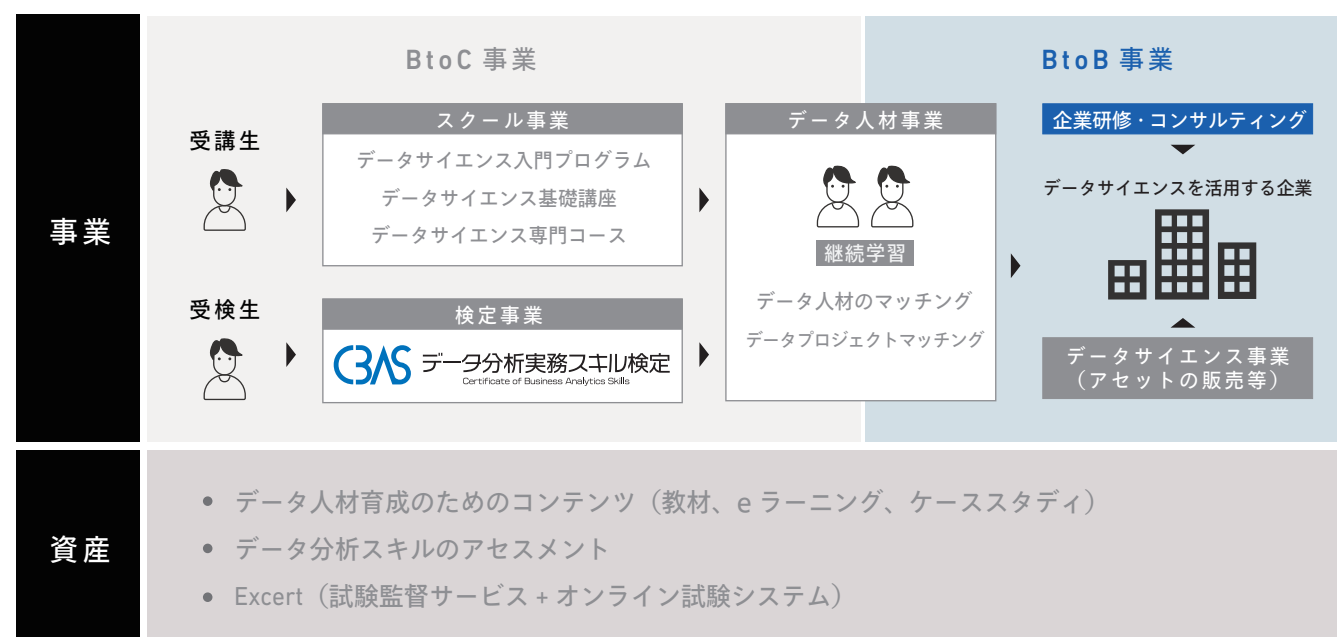
DXの鍵を握る人材育成

企業が求めるデータサイエンス研修は5つに大別される

データミックスには、年間2,000人以上への企業研修実績があります。培ったノウハウから、研修対象範囲とDXの取り組み内容でパターンを整理しました。



■ ビジネストラנסレーション事業の領域



■ データミックスの法人研修を受講して起きた変化

数年かけてデータミックスが研修を行った結果、目覚ましい成果を上げている企業があります。一部をご紹介します。

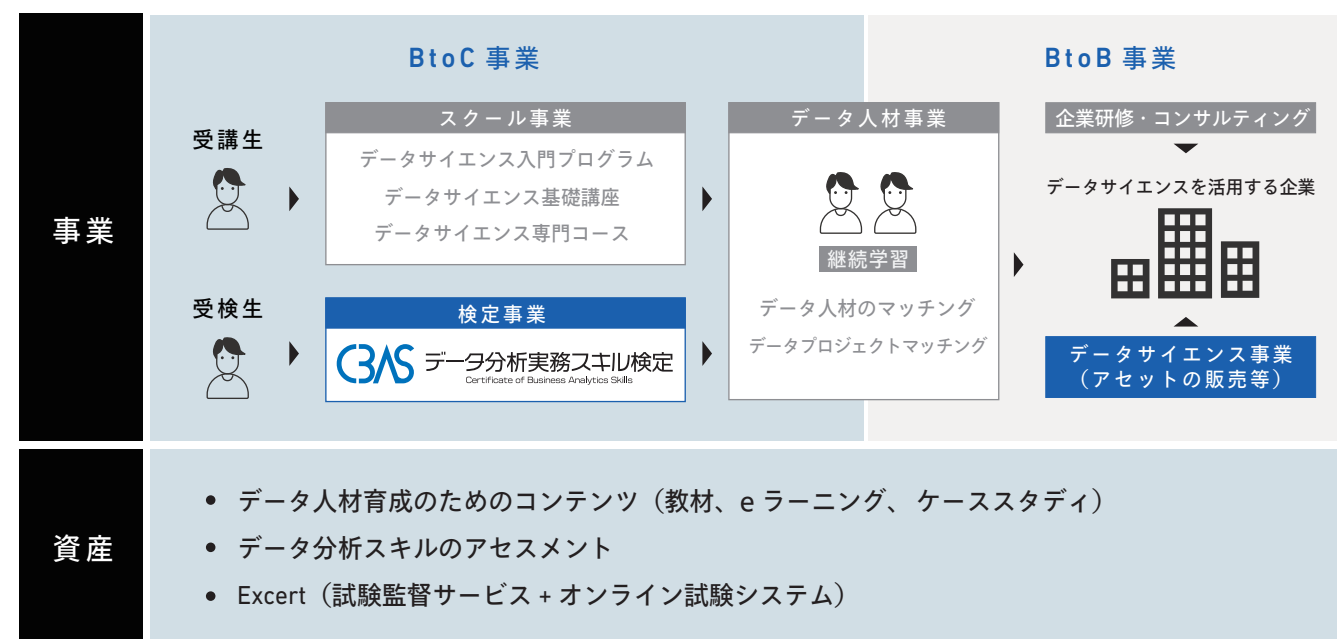
クライアント	研修前	研修後
大手新聞社様	構築した社内データベースを活用できておらず、データドリブンな事業運営ができていなかった。	A/Bテストを部門全体で実施する運用体制に。ウェブ記事のクリック率や回遊時間が改善。
大手生命保険会社・システム子会社	社内でデータ分析を行うことができず、DXを推進する体制もなかった。	内製で加入者の健康に関連するデータを収集し、分析できる体制ができた。継続的な育成体制を模索中。
大手商社グループの自動車関連企業	DX推進のためのチームを組成したものの、社内からデータ活用のプロジェクトの依頼や相談がなかった。	研修で作成した「分析プロジェクト企画書」のうち、2つのプロジェクトを実行し費用削減に成功。

データサイエンス事業領域

データサイエンスのオープンラボであり続ける

データミックスは個人および法人向けにデータ人材（ビジネストランスレーター、データサイエンティスト）の育成に関する事業の他、EdTech プロダクト事業や、データサイエンスのスキルレベルを測るアセスメント事業などを行っています。

■ データサイエンス事業の領域



EdTech 事業

教育領域に関するソフトウェアサービスの開発提供事業。試験監督付きのオンライン試験システム「Excert（エクサート）」の運営開発をメインとしています。

アセスメント事業

データ分析プロジェクトの中でデータサイエンティストやエンジニアとのコミュニケーションをとるために必要な知識を有しているかを証明する「データ分析実務スキル検定（CBAS）」の運営や、企業が社員のデータ分析力を測るためのテスト提供を行っています。

サービス実績

■ Excert（エクサート） EdTech 事業



試験監督付きのオンライン試験の実施に加え、教育現場で複数の生徒が学ぶ様子をリアルタイムに一括で把握できる SaaS* 製品です。2020 年度は、1 社、1 大学、6 団体で導入採用されました。

*SaaS とは、Software as a Service の略。ベンダーが提供するクラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由してユーザーが利用できるサービスのこと。

■ データ分析実務スキル検定（CBAS）運営 アセスメント事業

CBAS は、ビジネスシーンにおけるビジネス実務でのデータ分析スキルを証明する検定です。企業のスキルアセスメントとしても利用されています。
導入実績：NTT コミュニケーションズ株式会社、株式会社 VSN など（敬称略・順不同）



■ 公共事業への参画実績例

データミックスは、以下の案件を受託実施いたしました。

- 令和 2 年度文部科学省委託事業「専修学校における先端技術活用実証研究」における「スポーツ及び保育人材育成における先端技術を利用した学習成果検証事業」を学校法人三幸学園より受託
- 気象データアナリスト育成講座（仮称）に関する調査
- 広島県「データ分析・活用による生産性向上セミナー・データ活用実践コース」の企画・運営
- いばらき高度 IT 人材アカデミーへの「データサイエンティスト育成講座」カリキュラム提供など





堅田洋資

かただようすけ

代表取締役
サンフランシスコ大学大学院 データ解析学修了。一橋大学商学部卒（データサイエンス専攻）。
大手コンサルティングファーム、スタートアップでのデータサイエンティストを経て、2017年株式会社 データミックスを創業。

データサイエンティスト紹介

講師であり、データサイエンティスト



福澤彰吾

ふくざわしょうご

データサイエンティスト
理学部卒。
Slurpでの自然言語処理の分析担当を経て、2019年よりデータミックスに参画。
主に、データ分析コンサルティング、カリキュラム設計やコンテンツ開発、法人営業担当。



清水嵩文

しみずたかふみ

データサイエンティスト
経営学部卒。
データサイエンティスト育成コース本講座の卒業生。
2018年からデータミックスに参画し、講師デビュー。企業コンサルティングに加え、キャリアコンサルティング業務も担当。

記載メンバーを筆頭に、オリジナルの講師認定試験をクリアした講師が10名以上在籍しております。



橋本大佑

はしもとだいすけ

データサイエンティスト
北海道大学大学院農学院修了。統計学専攻。
2020年よりデータミックスに参画し、講師デビュー。法人研修やカリキュラム制作を主に担当。
著作論文に日本フードシステム学会大会で学会誌賞を受賞の「日本人の栄養素摂取バランスに関する時系列分析」がある。